

地域総合研究所2007（平成19）年度研究活動報告

所長 渋谷 敦 司

はじめに

2007（平成19）年度末に当たり、本年度の活動報告および研究所活動の課題、次年度活動計画等について報告する。

本年度の研究所活動は、『年報』の定例刊行、月例の「研究例会」、「所員会議」については、概ね当初予定のとおり毎月実施された。2004年10月に設置された「茨城大学地域総合研究所鹿嶋研究センター」（センター長 帯刀 治所員）も、鹿嶋市役所と地元住民との密接な協力関係の下、毎月研究例会を中心に活発な活動を展開してきた。また、鹿嶋研究センターおよび客員研究員の位置づけを研究所規則の中で明確に位置づけるための規則改正を行うなど、大学の枠を越えて研究所の活動が地域連携の趣旨に基づいて一層活発に展開するための条件整備に努めてきた。

研究グループ別の活動としては「地域システムグループ」、「福祉グループ」、「アジアグループ」、「環境・安全グループ」、「在日外国人グループ」の研究活動がそれぞれ展開され、研究例会での報告を行ってきたが、すべてのグループについて研究報告を行うには至らなかった。この点と関連して、研究例会の日程設定や他の学内研究プロジェクトや地域連携プロジェクトとの関係調整など、課題を残した。

中期計画に基づく07年度計画は、①地方公共団体および市民、NPOと協力して学際的な地域研究の拠点活動を促進する、②自治体職員の政策立案能力を向上させるための研修講座等の開講を充実する、③学際的な研究成果の地域還元をはかるためのシンポジウムを地域社会の諸団体と協力して開催するであり、概ね計画は達成できたと評価している。

1. 学際的な地域研究の拠点活動

(1) 研究例会

- 4月11日（水） 「ドイツバイエルン州南部ウンターヨッホ村における
農村再編に関する地理学的研究」
報告者：小原 規宏（人文学部）
- 5月23日（水） 1. 「大洗町の外国人労働者と国際交流の今後：ジェンダーから見た課題」
報告者：渋谷 敦司（人文学部）
2. 2006年度客員研究員研究活動報告と2007年度研究活動計画
- 6月27日（水） ※報告者の都合により所員会議のみ開催
- 7月25日（水） 「在外投票制度 ―日本とフィリピンの事例―」
報告者：木村 昌孝（人文学部）
- 10月31日（水） 「東アジア共同体構想について」
報告者：金 光男（人文学部）
- 11月28日（水） 「サルコジ政権下のフランス：新自由主義と社会的排除をめぐる政治的布置」
報告者：稲葉奈々子（人文学部）
- 12月19日（水） 1. 「水戸市男女平等参画基本条例の策定過程
―地方分権における議員提案の試み―」
報告者：田山知賀子（前水戸市議会議員）

2. 「2007年度東京都知事選における有権者の投票行動と社会意識」

報告者：丸山 真央（一橋大学大学院社会学研究科後期博士課程
日本学術振興会特別研究員）

- 1月23日（水） 「日立電鉄存廃問題と地域社会 — 「5年後, 10年後の私たちの後輩」
と「たった一人の高齢者」のための運動論」
報告者：斉藤 康則（東京大学大学院社会学研究科）

(2) 鹿嶋研究センター研究会

- 4月27日（金） 「茨城大学の地域連携について」
・茨城大学人文学部帯刀研究室の研究テーマの紹介
・茨城大学と鹿嶋市との地域連携
・鹿嶋研究センターの活動成果
・人文学部と常陸大宮市, 大洗町との地域連携
帯刀 治（茨城大学人文学部教授・鹿嶋研究センター長）
「平成19年度包括協定について」
帯刀 治（茨城大学人文学部教授・鹿嶋研究センター長）
「新鹿嶋市総合計画後期基本計画概要」
坂本係長（鹿嶋市役所）
「平成19年度研究テーマの進め方」
・民話絵本化／紙芝居化 WG の進め方について
西岡 邦彦（鹿嶋研究センター客員研究員）
・副読本「かしま」改訂版作成概要
西岡 邦彦（鹿嶋研究センター客員研究員）
- 5月25日（金） 「平成19年度の取り組みテーマの進め方」
・三都観光振興への参画について
鹿嶋市商工観光課ヒアリング結果報告
・研究センター活動としてのスタンス
・中国・韓国からの観光客招聘事業の検討
下 彰（鹿嶋研究センター客員研究員）
・鹿嶋研究センターホームページの完成報告
桐沢いづみ（鹿嶋研究センター客員研究員）
・農業体験交流事業（遊休農地活用事業）実施要領（案）報告
村田 浩伸（鹿嶋研究センター客員研究員）
・まちづくり市民懇話会の開催（5／30）について
- 6月22日（金） 「外国人観光客誘客事業構想（案）説明」
「まちづくりセンター活動への参画」
- 7月27日（金） 「鹿嶋神宮周辺地区景観形成委員会進捗状況」
西岡 邦彦（鹿嶋研究センター客員研究員）
「鹿嶋市農業体験交流事業の取り組み状況」
村田 浩伸（鹿嶋研究センター客員研究員）

- 「19年度まちづくり市民センターまつりへの参画について」
 「茨城大学生 研究テーマについて」
- ・日本の農村工業化政策の成果と課題
 康 美娜（茨城大学人文学部社会科学科）
 - ・鹿嶋市における鹿島アントラーズの社会的役割
 ～地域社会においてスポーツが持つ社会的可能性に関する一考察～
 佐々木俊輔（茨城大学人文学部社会科学科）
- 8月24日（金） 「市民センターまつり（てーら祭）参加アンケートの確認」
 西岡 邦彦（鹿嶋研究センター客員研究員）
- 「カルチャーネット広報担当者会議及びHP作成研修会について」
 君和田 毅（鹿嶋市役所職員）
- 「鹿嶋市観光振興ビジョンに係る意見聴取の件」
 君和田 毅（鹿嶋市役所職員）
- 「鹿嶋研究センターの位置づけ確認と今後の活性化に向けて」
 下 彰（鹿嶋研究センター客員研究員）
- 9月28日（金） 「観光振興ビジョン推進事業 WT 意見交換」
 「鹿島アントラーズ主催ゲームの観客動員へ向けた
 実態把握調査への協力依頼」
- 10月26日（金） 「てーら祭準備段取り確認」
 「発表内容の事前報告」
 「客員研究員より報告」
- ・クラインガルテンチームの芋の収穫祭への案内
 - ・茨城大学生卒論作成への支援要請
- 村田 浩伸（鹿嶋研究センター客員研究員）
- 11月4日（日） 市民センターまつり（第一回てーら祭）
 鹿嶋研究センター主催シンポジウム
- 「研究報告」
- ・鹿嶋スタジアム周辺の土地の利活用についての提案
 斎藤 義則（茨城大学人文学部教授）
 - ・鹿嶋っ子育成についての提案
 西岡 邦彦（鹿嶋研究センター客員研究員）
 - ・鹿嶋市の観光振興の推進についての提案
 下 彰（鹿嶋研究センター客員研究員）
- 「パネルディスカッション」
 テーマ ～明日の未来を考える～
- 11月30日（金） 「鹿嶋市将来都市ビジョンについての意見交換」
- ・ビジョン作成の背景について
 - ・研究員の意見
- 12月21日（金） 「鹿嶋研究センターの位置づけと今後の活動について」
- ・鹿嶋研究センターの活動に期待するもの

・今後の鹿嶋研究センターのテーマ

(3) ひたち未来研究会

- 6月2日(土) 第7回ひたち未来シンポジウム
「公共交通はなくなる?公共交通をこうしよう!!」

(4) 福祉部会

- 4月11日(水) 「ユニットケア～個別化ケアから個性化ケア」, 「思いやりのひとこと～介護するあなたへ」, 「NSTからの実践栄養管理」セミナー準備
情報誌「つばさ」配布
福祉住環境研究会無料相談打ち合わせ
- 5月9日(水) 「リーダーのための指導力向上とモチベーションの上げ方」, 「ADL対応型高齢者体操指導者養成セミナー」基礎バージョンアップ編セミナー準備
福祉展の打ち合わせ
福祉住環境研究会無料相談打ち合わせ
- 6月13日(水) 「認知症高齢者のエビデンスに基づいたケア方法」第1回, 「問題発見と問題解決の方法を探る」, 「RX青山の一人浴セミナー 実力アップ」セミナー準備
情報誌「つばさ」編集会議
福祉展の打ち合わせ
- 7月11日(水) 「下山名月の 思いを“かたち”にの介護」, 「認知症高齢者のエビデンスに基づいたケア方法」第2回, 「指導者のための指導カリキュラム作りと評価の仕方」, 「トラブルが少なくなる コミュニケーション術」セミナー準備
福祉展の打ち合わせ
- 8月22日(水) 定期総会
- 9月12日(水) 福祉展準備
「認知症高齢者のエビデンスに基づいたケア方法」第3回, 「リーダーに求められる組織と人事マネジメント」, 「RX青山の一人浴セミナー 実力アップ」セミナー準備
福祉展の打ち合わせ
- 10月10日(水) 「受け入れる技術・受け止める技・体験学習」, 「米山淑子の介護関係・トラブルQ&A」, 「下山名月の思いを“かたち”にの介護」セミナー準備
福祉展反省会
- 11月14日(水) 「RX青山の一人浴セミナー 実力アップ」, 「現場で使える音楽療法入門」セミナー準備
情報誌「つばさ」編集会議
- 12月12日(水) 「メンタルヘルス・自己管理能力をあげよう」, 「坂本宗久の遊びリレーション」セミナー準備
- 1月9日(水) 「偽ベテランから本物ベテランへ」(介護の知と技を磨く) セミナー準備
情報誌「つばさ」編集会議
福祉住環境研究会無料相談打ち合わせ

- 2月13日（水） 「認知高齢者の介護方法」, 「こころを癒すテクニック・セラピー入門」
セミナー準備
- 3月12日（水） 「認知症ケア・気づきヒット トレーニング講座」, 「職場での心身の健康管理」,
第1部「健康な職場は、健全な介護をもたらす」第2部「健康管理リーダー」セミ
ナー準備
情報誌「つばさ」編集会議

(5) 県北政策研究会

- 4月9日（月） 「グリーンふるさと振興機構が取り組んでいる地域政策について」
- 6月13日（水） 「県北地域資源とライフスタイル」
- 8月22日（水） 「地域資源とライフスタイル ～いばらきさとやまでこんな暮らし具体例」
- 10月26日（金） 「グリーンふるさと圏への移住・定住者+交流活動団体（者）と懇談」
～10月27日（土）
- 12月26日（水） 「懇談会 ～今年を振り返り、来年を展望 各自」
- 2月20日（水） 「常陸太田市の街並み再生について」

2. 自治体職員等の研修・公開講座

- (1) 第24回茨城県地方自治研究センター総会講演 7月11日
「茨城県の男女共同参画と子育て支援の課題」
対 象：自治体職員，議員
担 当：渋谷 敦司所員
- (2) 大洗町 2007年8月31日（金）・9月1日（土）・9月2日（日）
「地域振興と都市再生－大洗の場合」
対 象：大洗町20才代職員，大洗町民，教養総合科目受講生
担 当：地域総合研究所・斎藤 義則，帯刀 治，伊藤 哲司
- (3) 第30回地方自治研究茨城集会講演 自治体職員対象 10月24日（水）
「公共サービス改革 その方向と課題」
対 象：自治体職員
担 当：帯刀 治所員
- (4) ひたちなか市 2008年1月29日（火）職員研修
「意識啓発から行政実践へ：地方分権化の視点としての男女共同参画」
対 象：ひたちなか市職員
担 当：渋谷 敦司所員
- (5) 常陸大宮市 2008年2月9日（日）職員研修
「地域に元気を！少子化時代の男女共同参画」
対 象：常陸大宮市職員，常陸大宮市市民
担 当：渋谷 敦司所員

3. シンポジウムの開催

6月2日(土) 第7回ひたち未来シンポジウム

「公共交通はなくなる?公共交通をこうしよう!!」

4. 図書出版

書名『協働による都市地域再生の実践とシナリオ-茨城から世界へ』で、四六版、約400ページで文眞堂から定価2,000円程度で出版することが決定して大方の原稿は集まったが若干の遅れもあり、現在出版に向けて作業が進行中である。

5. 運営委員会・所員会議

(1) 茨城大学地域総合研究所運営委員会

- 2007年3月7日(金)
- (1) 次期所長候補者の推薦について
 - (2) 平成18年度研究活動報告について
 - (3) 平成19年度研究活動計画について
 - (4) 新所員の承認について
 - (5) その他

(2) 所員会議

- 4月11日(水)
- ・2007年度前期研究活動計画について
研究グループ別活動計画
 - ・地域システムグループ(佐川 泰弘 所員)
 - ・福祉グループ(松村 直道 所員)
 - ・アジアグループ(金 光男 所員)
 - ・環境・安全グループ(熊沢 紀之 所員)
 - ・在日外国人グループ(伊藤 哲司 所員)
 - ・その他
- 5月23日(水)
- ・地域連携プロジェクト予算申請について
 - ・その他
- 6月27日(水)
- ・客員研究員の規則上の位置づけについて
 - ・地域連携プロジェクトの申請状況について
 - ・車椅子利用者の研究活動参加条件の整備について
 - ・地域研受入図書資料の活用方策について
 - ・その他
- 7月25日(水)
- ・地域連携教員プロジェクトの採択結果について
 - ・エレベータ予算見積結果報告
 - ・地域研受入図書資料の活用と関連した会議室の交流スペース化について
 - ・原子力防災研究のテーマ継続について
 - ・その他
- 10月31日(水)
- ・2007年度後期研究活動計画について
研究グループ別活動計画

- 地域システムグループ（佐川 泰弘 所員）
 - 福祉グループ（松村 直道 所員）
 - アジアグループ（金 光男 所員）
 - 環境・安全グループ（熊沢 紀之 所員）
 - 在日外国人グループ（伊藤 哲司 所員）
 - 年報編集方針と投稿規定等の整備について（井上 拓也 所員）
 - 鹿嶋研究センターについての鹿嶋市と大学の契約関係の現状について
- 11月28日（水）
- 各研究グループの研究状況について
 - 地域システムグループ（佐川 泰弘 所員）
 - 福祉グループ（松村 直道 所員）
 - アジアグループ（金 光男 所員）
 - 環境・安全グループ（熊沢 紀之 所員）
 - 在日外国人グループ（伊藤 哲司 所員）
 - 年度計画の中間評価と今後の活動について（渋谷 敦司 所長）
 - その他
- 12月19日（水）
- 茨城県地方自治研究センターとの公開シンポジウム企画について
 - その他
- 1月23日（水）
- 茨城県地方自治研究センターとの共同企画テーマについて
（第2回打ち合わせ）
 - 地域連携コーディネーター会議について